

I 点検・評価の主旨について

1 点検・評価の主旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確でわかりやすい説明を行うため、本報告書を作成し議会に提出するとともに公表するものです。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、平成25年度の事務・取り組みとし、学校教育や生涯学習に関する事など、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としています。点検・評価に当たっては、毎年発行の教育要覧2013「大館市の教育」に掲げる「大館市教育目標・推進目標・重点目標」に沿って、重点施策としている事務・取り組みを選定して実施しました。

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項）が求められていることから、次の学識経験者2名を選任し、点検・評価について個別にご意見をいただきました。

○前大館市副市長、元大館市教育長 佐藤 忠信 氏

○前大館市社会教育委員の会委員長 田村 保彦 氏

4 報告書の作成

報告書の作成手順は、次のとおりです。

- ①各課・館において、所管している事務の点検・評価項目及び目標（重点施策点検・評価表の目標、活動内容）を作成しました。（25年4月）
- ②教育委員会に点検・評価の項目内容を報告し了承を得ました。（25年5月）
- ③26年4月末までに実施状況と見込みを取りまとめ報告書（点検・評価）素案を作成しました。
- ④学識経験者から、報告書素案について意見を聴取し、報告書案を作成しました。
- ⑤教育委員会（5月定例会）で、報告書について決議を得ます。
- ⑥報告書を6月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表します。